

営農だより 第3号

おいしいをつくりましょ。

富士伊豆農業協同組合

発行 2026年(令和8年)5月20日
北駿産米改良推進協議会
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター
電話 0550-84-4820

定点調査・生育状況

調査日：5月7日(木)、5月12日(火)

場所	標高(m)	播種日	田植え日	株間(cm)	植付本数(本)	草丈(cm)	葉齢
神山	280	4/13	5/6	19.0	3.4	20.7	3.0
吉久保	370	4/5	4/30	21.3	3.3	16.5	4.0
大堰	400	4/4	5/4	21.7	3.1	20.0	3.4
用沢	460	4/14	5/9	21.9	3.9	16.3	3.1
中畑北区	550	4/5	5/5	21.5	3.6	17.6	3.2
上柴怒田	610	4/11	5/10	24.3	3.2	16.4	2.6
平均				21.6	3.4	17.9	3.2

- 目標
- ①食味値 80 点以上
 - ②『米ぬか』使用の土づくりによる食味向上、循環型農業の実践

～適正葉齢と適正莖数で深水・中干しを行い、
太く粒張りの良い米作りをしましょう!!～
粒を大きくするには太い莖を作ることが重要です!!

1本の親莖から発生する4本の子供の莖
→太い莖が出来る
分げつを抑える方法として・・・
茎数過剰はくず米の原因にもなる為抑えたい!!
→ 深水 or 中干し

そろそろ田植えも落ち着いた頃でしょうか？寒暖差が激しい時期ですので、こまめな休憩と水分補給を心掛け、体調を崩さないように気を付けましょう。

今年の4月は例年と比較して気温が高く徒長苗が散見されたものの、病気等の発生は少なかったです。しかし5月前半の強風の影響を受け、田植え後の圃場では葉先が黄色くなってしまった圃場も見受けられます。6月上旬までの気温は高い見込みです。また今年の梅雨入り梅雨明けは早いことが予想されています。今後の気温や降水状況を確認し、稲の生育状況に合わせた水管理を行いましょ。また除草剤の散布のタイミングもご注意ください。

今後は水管理が重要となります。良食味米生産のポイントである太く揃いの良い分げつを確保する為に深水管理、または中干しを行いましょ(裏面参照)。莖数が過剰になると1本1本の莖が細く、無効分げつに肥料をとられてしまい粒揃いが悪くなります。水管理のタイミングを見極めて太く揃いの良い分げつの確保に努めて下さい。

適切な深水・中干し管理により、太く揃いの良い稲にしましょ!!

【御殿場の気象の推移】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温(℃)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月前半 計	13.4	10.2	3.2	78.7	81.9	96.1	258.5	134.6	192.1
4月後半 計	14.0	12.7	1.3	83.1	79.7	104.3	70.0	118.0	59.3
4月 計	13.7	11.5	2.2	161.8	161.6	100.1	328.5	252.6	130.0
5月1～5日	15.6	14.4	1.2	35.4	27.8	127.3	144.5	37.7	383.3
6～10日	15.9	15.0	0.9	27.8	25.6	108.6	0	41.0	—
11～15日	15.9	15.5	0.4	34.1	24.5	139.2	17.5	30.4	57.6
5月前半 計	15.8	15.0	0.8	97.3	77.9	124.9	162.0	109.1	148.5

『葉齢を数えてみよう!!』

今からでも葉齢・莖数は数えられます。水管理の際に畦際の平均的な1株を数えてみましょ。棒を1本立てて、週1回同じ株を測定してみましょ!!

- ①ほ場周りの1本苗を見つけ、一番伸びている葉の次に出てきた葉に、マジックペンで印や番号をつける。
- ②およそ1週間で葉1枚進む。
(毎週できるだけ同じ曜日に確認すると分かりやすい)
※今の時期、1～2枚目は溶けているかも、...

1週間で約1葉進みますが、葉1枚の展開速度は低温下と高温下で異なり、葉齢の進み方でもその年の気候が分かります。

裏面の水管理のタイミングも葉齢から確認することができ、勘に頼らない適期作業が可能となります。

【目標莖数(収穫時)の設定：太い莖で324本/m²(8俵/10a)】

目標登熟歩合：90%
目標千粒重：22.0g

☆莖数は水管理でコントロールできます!!

深水・中干しのタイミング
莖数15本/株!!(株間18cmの場合)

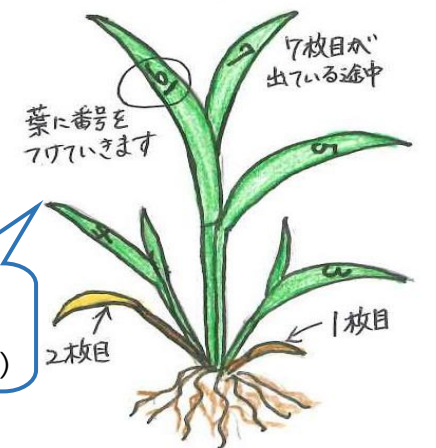
※莖数を取りすぎると肥料不足により登熟不良となりくず米が多くなってしまふ恐れがあります。気温が高くなると莖数が急激に増えることがありますので過剰分げつとならないよう、定期的に観察しましょ。

m²あたりの莖数計算方法

Ex)株間10株の長さ=180cm=0.18m、
畝間30cm=0.3m、莖数17.5本

$$1 \div 0.18 \div 0.3 \times 17.5 = 324 \text{本/m}^2$$

※刈取り時の目標莖数は17.5本/株(株間18cm)が目安となります。17.5本を確保するために6月末(最高分げつ期)時点で23本/株(株間18cm)確保することを目標にしましょ。

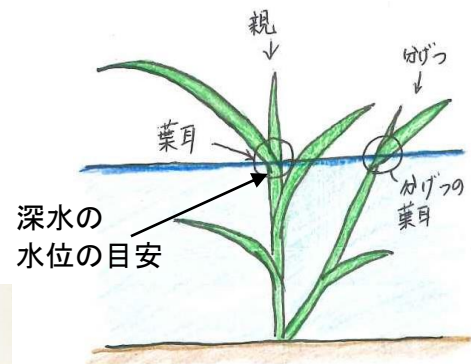


葉が2枚以上出ている莖を数えます。葉が1枚のものは数えません。

☆茎数のコントロール方法 葉齢 7.5～9.5 で太い茎を作りましょう!!

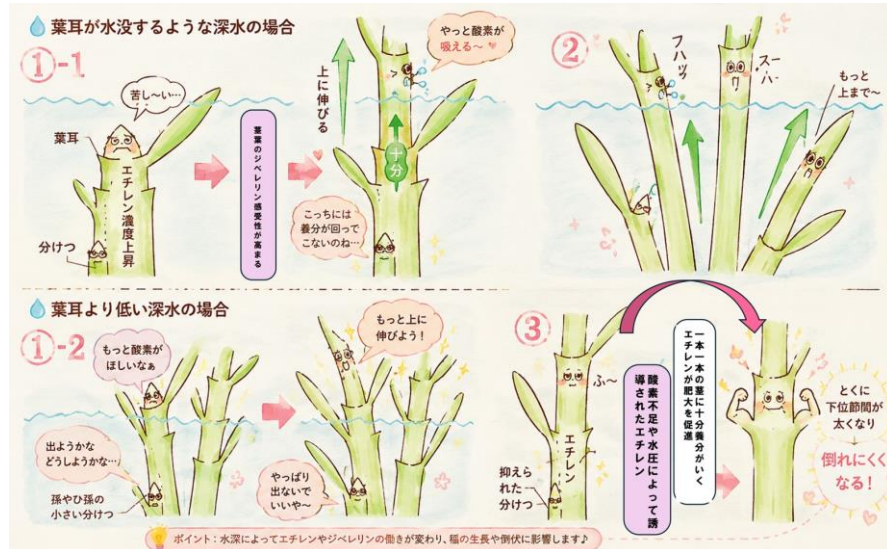
1、深水による水管理

- ①開始時期 7.5 葉期 (1 株茎数 15 本程度)
- ②水の深さ 葉耳の位置まで。
- ③終了時期 9.5 葉期頃 (開始から 14 日ぐらい)
- ④中干し 深水終了後、軽い中干しをする(7 日間程)



深水の効果

- ①分げつが抑制される。(図は①-1、①-2)
- ②揃いが良くなる。また茎が開帳する。
- ③抑えられた無効分げつの分の肥料が伸びている茎に供給されるため、1 本 1 本が太くなる。



2、中干しによる水管理の場合

葉齢 7.5 葉期 (茎数 15 本程度) になったら中干しを行い、分げつを抑えます。
7.5 葉期に 15 本/株以下なら開始を遅らせ、15 本/株以上であれば直ちに行いましょう (株間 18cm の場合)。中干し後は間断灌水を行います。

[中干しの程度]

☆亀裂が入る程の強い中干しは根を傷め登熟を悪くし、食味を落とすので注意!!

- ① 10 日程度で足跡が残るくらいの軽い中干しを行う。
- ② 秋の収穫作業に支障のない程度に中干しを行う。
- ◎茎数が足りない場合は中干しの開始時期を遅らせ、浅水管理(2～3 cm)で茎数の確保に努める。(7.5 葉期の茎数が 15 本以下の場合)

中干しの効果

- ①分げつ抑制 ②土壌中の通気を良くしてガスの発生を防ぎ、根の機能を高め老化を抑制
- ③土を固くすることにより稲の倒伏防止、収穫作業の容易化に繋げる

『雑草防除』

【除草剤の上手な使い方】～水管理と散布時期が重要です～

- ①ほ場に 3～5cm くらいの水を張り、湛水状態にする。
- ②除草剤を均一に散布し、散布後 7 日は必ず水尻を止めて 3～5cm の湛水状態を保つ。(処理層の完成には 3 日間必要) 水持ちの悪いほ場は夜間ゆっくり入水しましょう。
※ジャンボ剤・フロアブル剤を使う場合は、湛水状態を粒剤よりも深く・長めに保ちましょう。
- ③落水やかけ流しはしない。水を切らしてしまうと除草剤の処理層が壊れ、効果が半減してしまいます。
※ただし、除草剤の種類によっては落水散布(水のない状態で散布)するものもあります。使用方法をよく確認しましょう。(除草剤が流れてしまわないよう、畦畔を確認してモグラ穴をふさぎましょう)

「クログワイ」「オモダカ」等が発生しているほ場では中・後期剤を使用し、来年度以降の発生を減らしましょう。

レブラス 1 キロ粒剤 6 月中旬まで

ノビエ(4 葉)・ホタルイ(20 cm)・オモダカ(矢尻 3 葉)・クログワイ(30 cm)等。落水せずに散布。散布後 3 日は溜め水を行う。

クリンチャーバス ME 液剤 6 月下旬まで

ノビエ・ホタルイ他多年生雑草。暑いと薬害が出るため、高温時を避けて茎葉散布。散布後晴天が続く日に使用し、散布後 3 日間は入水しない。10a 当たり 1,000ml を 100ℓ の水に希釈し施用する。

【高温が続く際の注意】

ガスわき

高温が続くとほ場内でガスがわくことがあります。高温により前年の稲わらや有機質肥料の分解が進み、土壌が酸欠状態になることで発生します。ガスが発生すると根が傷み、稲の生育が阻害されてしまいますのでほ場を確認しましょう。

[対策] 1～2 日落水しましょう。土壌に酸素を供給することで土壌中の酸欠状態を回避し、稲の根の活性を高めます。



歩くとこんな感じで泡がブクブクと出てきます。

藻類の発生

窒素が豊富で水温が 20～30℃になると発生しやすくなります。水稻の株元に絡みつくと分げつが抑制され、また多発すると水温が上がらず生育が抑制されます。

[対策] 多発した場合はモゲトンを藻類の上に散布します。または水の入れ替えを行ってください。降雨があると消えることもあります。

表層剥離の発生

有機物やペースト肥料を使用しているほ場で、水温が上がると発生しやすくなります。藻類と同様に水稻の株元に絡みつくと分げつが抑制され、多発すると水温が上がらず生育が抑制されます。

[対策] 藻類に土壌表面の土や肥料成分が絡みついたものが表層剥離なので、藻類の対策と同様です。

※水の入れ替えを行う際は、除草剤の処理層を壊さないよう、タイミングに気を付けてください。

※落水だけでは水を入れた際に土壌に落ちた藻類や表層剥離が再度復活する可能性があります。

【作業省力化、規模拡大、担い手支援対策に向けた試験への取組み】

「水稻 V 溝乾田直播栽培」

昨年引き続き、令和 8 年度も V 溝乾田直播栽培試験を実施しています。

水稻苗移植栽培には、播種、苗箱準備、育苗管理、ほ場への苗運び等、多くの作業労力や資材が必要となります。直播専用播種機を用いて水稻の V 溝直播が作業省力に適するか、品質や収量にどのような影響があるかの継続試験を実施します。

今後も定期的に状況をご報告します。

V 溝直播機



5 月 13 日現在



試験ほ場：仁杉・深沢・山之尻

播種時期：3 月中旬

1 回目除草：稲出芽前にラウンドアップ(非選択制除草剤)

2 回目除草：入水前にクリンチャーバス ME 液剤

3 回目除草：一発剤予定